

# 総務常任委員会の記録

(防災安全課)

招 集 年 月 日	令和7年3月4日 (火)
招 集 の 場 所	松野町議会議場
開 会	3月6日 (木) 午後 1時27分
閉 会	同 上 午後 2時17分
出 席 委 員	山田 寛二、安西 博文、赤松 紀幸、加藤 康幸、森岡 健治、 山石 恭助、山崎 匡
欠 席 委 員	
付 議 事 件 説 明 の ため 出 席 し た 者 の 職 氏 名	町長 坂本 浩、副町長 八十島 温夫、 課長 中井 和彦、課長補佐 山本 和幸
職 務 の た め 出 席 し た 者 の 職 氏 名	議会事務局長 森本 秀行、書記 岡崎 智恵子
付 議 事 件	1 議案第24号「令和7年度松野町一般会計予算について」

山田委員長

議案第24号「令和7年度松野町一般会計予算」、防災安全課所管分の審査を行います。担当課長に説明を求めます。

中井課長

(業務計画説明)

議案第24号 令和7年度 松野町一般会計歳入歳出予算について、歳入該当分、歳出2款総務費、9款消防費の防災安全課該当分を、予算書に基づき説明します。

まず、歳出予算から説明します。予算書42ページの中段から、2款総務費、1項総務管理費、3目行政放送施設費の予算額は1,371千円で、前年度比427,415千円の減額としています。

主な減額の内容としては、前年度に防災情報等伝達設備事業に係る委託料9,141千円と工事請負費417,923千円を計上していたためであります。

次に、予算書47ページ、9目交通安全対策費の予算額は5,297千円で、前年度比3,476千円の減額としています。主な減額の内容としては、今年度に「防犯カメラ付き防犯灯」を整備したことに加え、10節需用費の光熱水費及び修繕料等を前年度実績に基づき計上したためであります。

次に、予算書48ページの中段、11目諸費の内、防災安全課所管の予算額は896千円で、前年度比19千円の増額としています。内容としては、宇和島地区防犯協会補助金の増額によるものです。

次に、予算書50ページの下段、16目情報通信基盤施設管理費の予算額は24,150千円で、前年度比11,454千円の減額としています。主な減額の内容としては、鬼北情報通信基盤施設のIP告知放送システムサーバ更新が今年度で完了することから、18節負担金を14,454千円減の22,687千円としたためであります。

ここで、事業の概要と今後の負担金の見通しについて説明いたしますので、委員会資料1ページをお開きください。

「鬼北地域情報通信基盤設備事業」は、鬼北町と松野町が連携し、平成23年度からIP告知端末を利用した情報伝達や、テレビ、インターネットの運用を行っております。運用にあたっては、住民への安定的な情報を発信するため、通常の維持管理と計画的な機器の更新を行っており、その負担割合は人口等を基に鬼北町72%、松野町28%とし、運用をしております。

令和7年度においては、撮影した地域情報の映像や音声を編集できる「ノンリニアシステム」等の更新を予定しており、8年度以降についても、右下に記載のとおり、計画的な機器等の更新を予定しております。

次に、予算書100ページの下段に戻って下さい。9款消防費、1項消防費、1目非常備消防費の予算額は、18,212千円で、前年度比11,440千円の減額としています。

主な減額の内容としては、消防団員の活動服及び雨具の整備が今年度中に完了することに加え、1節報酬を前年度実績に基づき計上したことによるものです。

次に、予算書102ページ、2目消防施設費の予算額は37,776千円で、前年度比26,418千円の増額であります。

主な増額の内容としては、富岡消防車庫及びホース乾燥柱建設事業を実施するほか、ホース干し場が無い2部に対し、新たにホース乾燥柱建設事業を計上したためであります。

ここで、事業概要を説明しますので、委員会資料2ページをお開きください。

「富岡消防車庫及びホース乾燥柱建設事業」につきましては、耐震性のない消防車庫を建築年度の古い順から更新するもので、延野々、豊岡後に続いて実施するものです。

車庫の建築位置としましては、同じ敷地内にあるゲートボール場へ移設することとし、併せて排水工事等の外構工事も施工することとしております。また、ホース乾燥柱につきましては、車庫に隣接

する形で建設し、利便性の良い配置にすることとしております。

続きまして、委員会資料3ページの「ホース乾燥柱建設事業」について、説明いたします。

消防ホースの乾燥につきましては、令和5年度より消防車庫の更新に合わせ、順次、整備を進めているところであります。

しかし、すでに消防車庫が整備されている6部については、事業が先送りになっていることから、消防団員の負担軽減を考慮し、令和9年度迄にすべての部のホース乾燥柱を計画的に整備しようとするものです。

令和7年度につきましては、消防団幹部との協議により、第3分団第2部蕨生、同じく第3部奥野川を予定しております。

予算書の102ページに戻って下さい。3目水防費については存置予算としています。

続いて、4目災害対策費の予算額は9,638千円で、前年度比2,202千円の増額であります。主な増額の内容としては、17節備品購入費として、防災資機材購入費1,130千円を計上したことに加え、18節負担金、補助及び交付金で、災害情報システム高度化事業費負担金1,549千円を計上したためであります。

それでは、主な事業の説明をいたしますので、委員会資料4ページをお開きください。

まず、「避難所資機材、備蓄品整備事業」について、説明いたします。

今後30年間で80%の確率で発生することが予想されている「南海トラフ巨大地震」をはじめ、異常気象による風水害が年々、激甚化していることから、長期的な避難を余儀なくされる可能性も高まってきております。

その際には、指定避難所の役割は極めて重要であることから、避難所の機能向上と必要な備蓄物資の確保を行うものであります。

まず、照明器具の整備につきましては、今年度、企業版ふるさと

納税で吉野生交流促進センターと目黒基幹集落センターに、LPガス式の発電機を納品いただいたことから、夜間における明かり対策として、「バルーンライト」と「LEDライト」各1基を指定避難所でもある、両施設に整備するものです。

また、居住用資機材につきましては、これまでも「段ボールベット」と「段ボール間仕切り」の整備を進めて参りましたが、よりプライバシー性の高い、テント型のパーテーションを新たに10基整備しようとするものです。予算額は、水や食料等の備蓄物資を含めて1,513千円となり、財源につきましては、災害対策基金繰入金を予定しております。

なお、令和7年度中には愛媛県が南海トラフ巨大地震時における各市町の被害想定を公表される予定であることから、本格的な備蓄物資や資機材等の整備については、8年度以降に進めていきたいと考えています。

続いて、委員会資料5ページの「防災フェア開催事業」について、説明いたします。

近年、全国的に頻発する地震や「南海トラフ地震臨時情報」の発表などにより、住民の防災に対する意識は高まってきていることから、町制70周年記念行事の一つとして、「防災フェア」を開催することとしております。

開催時期は、10月12日の日曜日を予定しており、町民運動会と共催することにより、より多くの住民に参加していただく機会にしたいと考えております。

事業内容としては、自衛隊、消防、警察等の関係機関の協力により、各種車両の展示をはじめ、地震体験車や防災資機材展示ブース等を設けることにより、見るだけでなく、住民が体験できるイベントにしたいと考えております。

なお、予算につきましては、防災フェアに必要な消耗品、食料費、チラシ代の合計101千円を計上しております。

以上で歳出について説明を終わり、歳入の説明へ移ります。

予算書27ページの下段になります。15款県支出金、2項県補助金、8目消防費県補助金、1節災害対策費補助金については、家具等固定加速化事業費補助金として、100千円としています。

続いて、28ページ上段、15款県支出金、3項委託金、1目総務費委託金、1節諸費委託金については、自衛官募集事務委託金として、交付見込み額の24千円としています。

続いて、予算書29ページの上段、16款財産収入、1項財産運用収入、2目利子及び配当金、1節利子及び配当金のうち、当課所管分は災害対策基金預金利子として40千円としています。

続いて、予算書31ページの上段、18款繰入金、2項基金繰入金、6目災害対策基金繰入金、1節災害対策基金繰入金については、避難所用備蓄物資・資材等整備に対して、1,513千円としています。

続いて、予算書34ページの中段、21款町債、1項町債、1目過疎対策事業債、1節過疎対策事業債ハード事業分のうち、鬼北地域情報通信基盤施設管理運営費負担金として、9,800千円充当することとしています。

同じく、4目緊急防災・減債事業債、1節緊急防災・減債事業債のうち、富岡消防車庫及びホース乾燥柱建設事業、ホース乾燥柱建設事業に対して、合計37,500千円充当することとしています。

以上で説明を終わります。

よろしく御審議いただき、ご承認いただきますようお願いいたします。

山田委員長

担当課長の説明が終わりました。

委員からの質問を許します。

山崎委員

消防用の車両の倉庫の整備のことなんですけど、今回も予定されておるんですけど、予定に対しての進捗率というか、どれくらい改

<p>中 井 課 長</p>	<p>修が進んでいるのか、また、今後の予定を教えてくださいと思います。</p> <p>耐震性のない車庫につきましては、9分団のうち6分団が対象になっております。</p> <p>そのうち延野々を既に済ませておりまして、今年度、豊岡後が間もなく完成予定でありますので、6か所中2か所ということで、進捗率としましては、33%ということになります。今後の進捗状況につきましては、来年度は富岡となっております、そのあとに豊岡前、そして最後に吉野となります。そこらあたりは、各分団にも、幹事会を通じて周知をしております、今後は、地元の区長さんを通じまして、地元調整のほうを進めてまいりたいと考えております。</p>
<p>山 崎 委 員</p>	<p>単年度に1か所ずつというぐらいのことなんだろうというふうに思うんですけども、あと、計画指針とかそれに合った蓋がない防火水槽の件なんですけど、僕も当時消防団でおりながら、藻が生えたりなかなか実際使いにくいと本当に思ってるので、その辺の整備計画っていうのもしっかりやっていただいたらというふうに、思っております。そこはもう要望なんで、もし何か予定があるのであれば、お聞かせしていただいたらと思います。</p>
<p>中 井 課 長</p>	<p>古いタイプの蓋がないタイプの防火水槽につきましては、今、山崎委員がおっしゃいましたように、使い勝手が悪い上に、安全面でも、子どもさんが転落したりということも考えられます。</p> <p>あわせて、もう古くなって水の流れが悪いといったような防火水槽も多く見られることから、部落要望などでも改修の要望が上がってきているところです。そういったところを中心に、まずは、全町調査を行うとともに、緊急性が高ところ、例えば水源がそこしかないですとか、その防火水槽の役割の高いようなところとか、そういったところを優先的に進めていきたいと考えております。</p> <p>そのことにつきましては、我々事務局だけではなく、消防団のほ</p>

<p>赤 松 委 員</p>	<p>うとも相談をしながら、計画的に進めていきたいと考えております。</p> <p>資料26ページになるんですが鬼北地域の情報通信基盤整備事業のことについてお聞きします。</p> <p>この資料の中に、今年は2,268万7,000円でのリニアシステムの更新というような事業が出るとるんですが、そのあと今から13年まで各種整備事業の予定が出るとるんですが、これ全部で5億7,800万円余りの事業費になっておるわけですが、この事業を通じてテレビとかインターネットとかIP告知端末等が活用できているわけですが、今現在、この利用者ですね、これほどの経費がかかるんでやはり利用もなかったら効果いうものが薄れるわけですが、今どのぐらいのそれぞれテレビ、インターネット、IP加入者がおられるのか、数字を教えてくださいと思います。</p> <p>もう1点、先般、消防の出初式に出席をさせていただいたんですが、その中で特に目立ったのが女性の消防団員数が少ないんじゃないか数名のような気がいたしました。それから赤バイ隊、あれも数台以前はあったんですが、これも1台か少ないような気がしたんですがそこら辺状況を説明していただいたらと思います。</p>
<p>中 井 課 長</p>	<p>まずユーキャットの加入率ですが、現在のところ、48.8%となっております。これは、今年度に入ってからではございますが、件数的に10件ほどは増加しております。引き続き、加入について、町としてできるような周知活動は行っていきたいと考えております。</p> <p>次に、女性消防団員でございますが、現在、総団員数は150名を切ってしまった段階であります。そのうち、女性消防団につきましては、現在4名の方が在籍していただいております。去年に比べ1名減ってしまっている現状ですが、さらにちょっと、女性団員のほうから呼びかけにより入っていただくようなお話も伺っておりま</p>

	<p>すので、そちらのほうも継続的に進めていきたいと考えております。</p> <p>最後に赤バイ隊ですが、これは寄贈によりまして3台、現在、町のほうには赤バイがあるわけなんです、こちらに頂いて以降、かなり月日がたっていることもあり、現在、維持管理にちょっと手を焼いていると言ったような状況であります。消防自動車もそうではあるんですが、定期的な運行をしなければ、どうしてもバッテリーが上がったり、ということがあり修繕の回数とかも現在増えてきているような状況ですので、赤バイ隊につきましても、今後どうするか、現在、幹部会のほうで検討はしているところでございます。</p> <p>赤バイ隊については、県内でも全部の消防団が持たれている車両とかではなく、災害時には1番役に立つ機材だとも思っておりますので、そこら辺の機材が新しくやり変えられるかどうかそういったこともちょっと検討しながら進めていきたいと考えております。</p> <p>赤バイ隊員につきましても、現在3名の団員が、赤バイ隊として活動していただくことになっております。</p>
赤 松 委 員	<p>まず1点目の、地域情報通信基盤整備事業の関係でございますが、48.8%の利用者ということで約半分の方が利用されておるのはこれ、ケーブルテレビとインターネットと両方合わせて、それぞれも分かりますか、テレビとインターネットの加入状況は。</p>
中 井 課 長	<p>先ほどユーキャットの加入率を申し上げましたが、インターネットの加入率は、771世帯で40.8%となっております。</p> <p>また、先ほど申し上げました48.8%というのが、テレビの加入率のことです、加入世帯が928世帯となっております。総世帯数は1,900世帯で計算しております。申し訳ございません。</p>
赤 松 委 員	<p>約半分の方が加入されとるといような、大ざっぱに言いますと、そういうことですね、この加入の勧誘ですよ、インターネットはいろいろ利用料の絡みもあると思うんですけど、テレビのほうはぜひ加入をしていただいて、視聴を願ったらと思うんですけど</p>

ど、PRといいましょうか、勧誘はもうユーキャットにお任せという  
ことで、町のほうでは特別な働きかけはされてないんでしょう  
か。そこら辺がもし働きかけをされてないんであれば、やはり町と  
しても、今テレビを利用して、災害とかいろんなそういう情報も活  
用するというような計画もされておりますので、ましてやこれ今  
後、いろんなこの防災的なこともこれ、事業として計画されてお  
りますので、ぜひユーキャットと協力しながら、町のほうもより多く  
の町民の方が加入していただくような働きかけをぜひお願いしたい  
と思います。

それと今の消防団員数でございますが、特に女性隊員は4人とい  
うことで、4、5人以前からずっと増えること余りなしで減るぐら  
いの状況になつとるんですけど、是非これもあわせて、赤バイ隊の  
ほうも3人というようなことでございますが、御存じのとおり、今  
から災害といいましょうか、大変多くなっております。そういうこ  
とで、女性隊員の方も、災害には活躍できる場が大いにあるんじや  
ないかと思えますし、赤バイ隊にしましても、やはり松野町のような  
地形のところで、そういう万が一災害が起きたときには、これも  
赤バイ隊の活用というのが重要なことになってくると今、課長のほ  
うからも説明ありましたけど、そのように我々も思います。

そういうことから是非引き続いてこれも整備をしていただくいう  
か、今後の対応について、消防団内で十分検討願ったらと思いま  
す。

中 井 課 長

ただいま赤松委員さんから頂きました内容につきまして、これま  
で町ではまだ十分周知できていない部分もございましたので、ユー  
キャットの加入率ですとか、そういったことについても協力しなが  
ら進めていきたいと考えております。

また、消防の団員確保についてですが、女性消防団員や赤バイ隊  
の今後の存続といったことにつきましては、引き続きまして、幹部  
会でも、一つの課題として今検討しているところでありますので、

山崎委員	<p>ある程度の方向性を見定めて、議員の皆様にも報告ができるように引き続き協議を進めていきたいと考えております。</p> <p>先ほど課長の御説明で、機能別消防団という文言が出たんですけど、私自身も消防団OBでありまして、団員の減少については、なかなかここから先、団員の確保について厳しくなっていくんだろうというのを予測しているんですけども、機能別消防団がどういうふうな概要で、また素案ができてないでしたら現在の考え方でもいいんですけども、どういうふうな形のもので今後目指していくのかというのをお聞かせしていただいたらと思います。</p> <p>団員の減少を補うという言い方がいいかどうか分からないんですけども、OBとか私たちも含めてかなりいると思うんで、いざというときに、もし僕らでも力になれるんだったら力になりたいなという意識を持たれてるOBの方数多くというと思いますんで、その辺どういうふうな考え方されとるかお聞かせしていただいたらと思います。</p>
中井課長	<p>機能別消防団員制度につきましては、消防の定例幹部会でも、今年度の途中から検討事項として今協議をしていただいております。対象としましては、元消防職員さんですとか、あと消防団員のOB、そういった方を機能別消防団員として登用しまして、いざというときに後方支援などをしていただくことを今想定しております。</p> <p>あと、県内のよその自治体などにおきましては、協力事業所についても登録制度などを採用している自治体もございますので、そういった自治体とかにも情報を共有していただきながら、前向きに進めていきたいと考えております。</p> <p>遅くとも令和8年度からは、OB団員の登用といった形で実現できるよう努めてまいりたいと思っております。</p>
山崎委員	<p>いろいろ考えられてるようなんで先ほど言った、町内の大規模事業所というところに関しては、いざというときに協力してもらえ</p>

<p>森岡委員</p>	<p>体制っていうのがつくりやすいんじゃないかなというふうに思うんで、是非その辺も含めてOBもしくは事業所とか、そういうところにまた働きかけしていただいてより充実した機能別消防団というのを考えていただいたらと思います。</p> <p>1点だけ伺います。各組とか、各施設に災害用の備蓄を公共施設、避難場所へ設置されておりますが、このローリング、入替えについて、その管理、いわゆる避難所のほうは結構多分対応されてるんじゃないかなと思いますけども、集会所とか、各組のその辺がどうなってるのかなと。それと、そこの中にも、いわゆる発電設備とか、組で買われとるようなもの、それから油が一緒に置いてあったりなど、あるんですけども、その辺の管理はどうなってるのか、どういう指導がされてるのかなと。あともうは、ここの中でLPガスの発電機ってありますよね。これについてもいわゆる地震でガスが転倒したときにどうなるのかなあと、いろんな不安もあるんですけども、その辺、災害時にはガスが必要電源のためには使える電源ではあるのですが、その辺の管理及び運用についてもどのように考えているのか、お聞かせ願ったらと思います。</p>
<p>中井課長</p>	<p>備蓄品の管理につきましては、町といたしましては、町内に指定しております指定避難所のみ定期的なローリングストックによる備蓄品の入替えを行っております。</p> <p>そういったことで、各部落といいますか組ごとの集会所の備蓄につきましては、町にあります補助金などを利用していただくよう、各区長さんをお願いをしているところであります。</p> <p>ここ2、3年、コロナ禍が終わってから、自主防災会による避難訓練がどこの部落でも行われつつあります。その訓練を行うときに訓練を行うと同時に、備蓄品などについても町の補助金を使っただいて、それを各組の集会所ですとか、集まる場所に置いていると言ったような組もございます。そういったことで、部落や組によって対応はまちまちのところはございますが、どこの区長さんにお</p>

	<p>かれましても、備蓄品の重要性は認識されており、使える町の補助金は利用したいということはおっしゃっていただいておりますので、より一層周知のほうは進めていきたいと考えております。</p> <p>次に、今年入れました吉野生支所と目黒基幹集落センターのガス式の発電機についてでございますが、基本的に今回の発電機だけではなく、もっと簡易な小さい発電機がございますが、その発電機についても、町のものはほとんどがガス式にしております。なぜかという、例えばガソリンなどの油を焚くようなものであれば、必ず1年に1回は、油の入替えをしないと、機械自体が傷んでしまうというようなこともございます。そういったことで、小さな発電機につきましても、ガス式のものを採用しており、そういった大きな考え方から、今回導入します発電機につきましても、専門家の立場からも、ガス式が良いということで、ガス式の発電機を採用したといえますか、納付頂いたというような現状でございます。</p>
森岡委員	<p>分かりましたが、まず、この写真を見るなりには、おそらくちゃんとした転倒防止とか、そういうのは当たり前のことだろうと思いますが、その辺はどれほどの災害、地震が起きるかなという、そこにもよるかもしれませんが、かなり強固なもので対策するとか、その辺のチェックとか、その後の腐食とかいろんなものが出てきますので、チェック体制はよろしく願いしておきたいと思います。</p> <p>また、各組とか町の補助で購入されてるものとか、中は備蓄の食料品もあると思いますので、その後、入替えた品物についてどのようにされとるのか。そこもちょっと合わせてして教えていただいたらと思います。</p>
中井課長	<p>まず1点目のガス式の発電機につきましては、今森岡委員さんから御指摘頂きましたように、チェックのほうをしっかりとしまして、大規模災害において、すぐさま活用ができるように、日頃からの点検等を怠らないようにしたいと考えております。</p> <p>次に、備蓄物資の入替え終わった古いものの活用についてです</p>

	<p>が、基本的に食料品などについては、5年保存のものを購入しております。そして、4年が経過したものについては、入れ替えることとしており、残ったその1年間でですね、今やっておられるような各地区での自主防災会の訓練会ですとか、学校などで実践される、防災訓練とかですね、そういったときに活用していただいているところでございます。</p>
森岡委員	<p>ありがとうございます。最後に1つだけ各組の集会所の横、裏とかに、倉庫の中へしまわれたままになってるような品物がありますんで、その辺もやはり防災安全課からとして、再度チェックを要請していただけるように、再度確認のためにもお願いをしとったらと思います。</p>
山田委員長	<p>他にありませんか。</p> <p>質問が無いようであれば、採決に移ります。</p> <p>ただいま審査しております、議案第24号について、原案のとおり可決すべきものと決定することに、ご異議ありませんか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
山田委員長	<p>賛成全員です。</p> <p>したがって、当委員会は、議案第24号「令和7年度松野町一般会計予算」、防災安全課所管分については原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。</p> <p>会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。</p> <p>令和7年4月24日</p> <p>松野町議会総務常任委員会委員長 山田 寛二</p>